

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業の概要

事業名	一般国道384号 榑ノ木拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県南松浦郡新上五島町宿ノ浦 至：長崎県南松浦郡新上五島町宿ノ浦			延長	1.3km
<p>事業概要</p> <p>一般国道384号は、五島市を起点とし新上五島町を經由し佐世保市へ至る、延長約9.9kmの幹線道路である。榑ノ木拡幅は、奈良尾港と有川港を結ぶ島内の一般国道384号の一部を構成する区間であり、水産業・観光産業を主要産業とする新上五島町の物流ネットワークの形成に寄与するものである。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>本事業は、新上五島町を縦貫する一部を構成する区間であるが、幅員が狭く線形も屈曲しており、車両の離合も困難な状況にある。そのため、安全かつ快適な自動車交通及び歩行者の安全確保を図り、観光、水産を主要産業とする地域経済の活性化及び、市町村合併による広域行政を支援するために整備を行うものである。</p>					
全体事業費	18億円	計画交通量	2,530台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

地元新上五島町より、水産業と観光を主軸とする地域の活性化のために本区間の強い整備要望が出ている。（平成17年2月）

- 事業採択の前提条件**
- 便益が費用を上回っている（B/C 1.2）
 - 円滑な事業執行が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.2	総費用	16億円	総便益	19億円	基準年	平成17年
			事業費	15億円	（走行時間短縮便益 19億円）			
			維持管理費	1億円	（走行費用減少便益 0億円）			
					（交通事故減少便益 0億円）			
感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.3	（交通量 +10%）	B/C=1.1	（交通量 -10%）			
	事業費変動	B/C=1.1	（事業費 +10%）	B/C=1.3	（事業費 -10%）			
	事業期間変動	B/C=1.1	（事業期間 +2年）	B/C=1.3	（事業期間 -2年）			
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠				
		渋滞対策	○	走行性が向上し、渋滞損失時間が改善される。 【渋滞損失時間の改善】約3.2万人・時間/年 → 0人・時間/年 【1kmあたり渋滞損失時間】約2.5万人・時間/年km（現況） 長崎県平均：約1.2万人・時間/年km				
		事故対策	○	事故件数の減少が見込まれる。 【その他の特徴】 ・交通隘路区間の解消が図られ、事故件数の減少が見込まれる。				
	社会全体への影響	歩行空間	○	歩行者の安全性向上 ・現在歩道がない通学路であり、歩行者交通量26人/日である区間の歩道幅員0m→2.5m。				
		住民生活	○	生活圏中心部へのアクセス向上				
		地域経済	○	主要な観光地へのアクセス向上（教会群）				
		災害	○	第一次緊急輸送路として位置づけられている				
		環境	○	CO2排出量の削減 92t/年				
地域社会	○	市町村合併による地域間交流を支援 ・新上五島町(上五島町、有川町、新魚目町、若松町、奈良尾町)H16.8.1合併						
事業実施環境	○	・長崎県長期総合計画における整備の位置づけ。 ・地元自治体の強い要望。						

- 採択の理由**
- ・本事業は、費用対便益が1.2と便益が費用を上回っている。
 - ・交通隘路区間の解消を行うことにより、生活圏中心部へのアクセス性の向上が図られる。
 - ・歩道の整備により、歩行者の安全が図られる。
 - ・以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。